

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

# 福岡まさき

平成27年1月 後援会事務局発行 市政だより

十二月定例会



## 12月議会も着実な施策と実現に向けた取組み！

### 行政指導は適切か

❖市が平成4年以来実施してきた千里(豊中市域)での集合住宅建設で駐車場設置比率100%の指導が実態に合わないため、その改善に取り組みました。(調査した29物件のほとんどで過剰な指導のため、不必要な維持管理費が住民に、数年で億単位のケースも)

市は指導が実態に合わないことを認識し、条件付きながらも80%の指導へ来年4月にも変更すると答弁。しかし、一律・一括の指導では現実的ではなく市民に寄り添った指導を更に求めて行きます。

(実際には車所有率50%以下のマンションも)

### 市民の安心・安全どう守る

❖災害非常時での市民の安心・安全について二つの問題を提起し質しました。

①非常時に市民への情報伝達手段の一つとして小・中学校の敷地内に設置している同報系防災スピーカーは高い設置コストの割には効果が低い。低コストで確実な情報伝達手段の導入を提案し、市と協力した取組みの検討をはじめます。➤

現在、市と防災協定を結んでいるFM千里放送局と協力し、市民への確実な情報伝達、特に災害弱者となる保育所、学校、老人施設等では効果的です。(電波法の改正でこれまでの一部地域への限定的な放送から豊中市全域をカバーできることとなります)

②先の台風19号のおり、避難所設置の指示が出ているにもかかわらず、担当職員(豊中市居住)と連絡が取れない事態が多発し、改善と訓練を着実に実施するよう要請。しかし、豊中市に居住する職員への過大な負担については、職員間の公平性や評価を検討すべきと考えます。

### 福祉予算を適切に

❖豊中市予算の多くを占める生活保護関連費で不正受給の撲滅、健診や医療費縮減の取組みを求めました。(本年度11月までに発覚した不正受給156件7,300万円、悪質な手口や未回収分には法的手段も)

※本来、受けられる人が安心して受給できる福祉社会の実現。不正受給の撲滅とこれに手を貸す組織や団体の実態把握、悪質なものについては犯罪としての処罰を徹底すべき。

### 「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号  
TEL 6858-2620(直通) FAX 6852-2384

### 自宅

〒560-0082 豊中市新千里東町2-7 C27-1109  
TEL 6833-7705 FAX 6831-1281

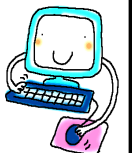
E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

福岡正輝 ホームページもご覧ください

<http://www.fukuokamasaki.com>

日常の活動や政治信条、市政の裏話など報告しています。

※ ヤフー かグーグルで「福岡正輝」検索  
ホームページからお入りください。



# 【福岡まさき】

## 活動日記

### 多くの役職、責任重大です

今年度は多くの役職の当たり年です。

市議会副議長とともに、大阪府広域水道事業団議会議員、中でも大阪府後期高齢者医療広域連合議会では豊中市を代表し議長に就任しています。水道水の安定供給、高齢者医療に関する広域連合の予算や条例などの審議・決定を行う機関で働けることは幸せです。

手帳に書ききれないほどの予定も入り、「忙中閑あり」多忙の中にもわずかな暇はあるものだ、という意味でしょうか。その境遇をむしろ楽しもうと考えています。

残り期間も豊中市民のみならず、大阪府民の安心・安全、幸せ実現にいささかでもお役に立てればと全力で取り組みます。

### 北急桃山台駅のバリアフリー

桃山台駅西(バスターミナル側)のバリアフリー化が遅れています。地元地域団体から要請を受け取組みました。この場所は吹田市域にありながら、利用者の大半が豊中市民という事もあってか最後まで残りました。「まちづくり」の基本は利用者と責任市の関係を云々しては始まりません。私自身は以前にもご報告した豊中市東寺内地区の歩道(桃山台とは逆で利用者の大半が吹田市民)約300mを吹田市民の要請で豊中市を動かし実現しました。このケースを吹田市側に理解いただき、豊中市職員との熱心な働きかけで実現の見通しが立ちました。

今後残された問題として、エレベーター設置場所の土地所有者である大阪府タウン管理財団、建物所有者のUR都市機構の理解と協力を得て早期に実現したいと考えています。

「福岡まさき」は豊中を変える政策集団「新政とよなか議員団」の一員として日々活動しています。「政治は結果とスピード」を信条に確実な成果をめざします。

### 西丘小学校建替え説明会

千里ニュータウン豊中市域にある小学校で耐震診断の結果、IS値(耐震指数)があまりにも低く、耐震補強ではなく建替えが決定された学校です。建替えについては、市(教育委員会)に対し、保護者や地域住民、地域活動団体に十分な説明と意見聴取を実施するように私自身が申し入れ昨年、3回のワークショップが開催されました。その結果、地域の要望や意見を取り入れた基本設計がまとまり、今回その説明会が実施されました。

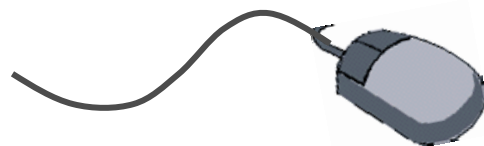
詳細説明の後、質疑応答が行われ多くの方々から意見や要望が出されました。その大部分は、より良い建設計画となるようにとの思いからか、市に対して厳しい意見や質問が多数出されました。

勿論、市は今回の説明会について十分な周知や資料の配布など、行き届かなかつたものについては反省し、次回の最終説明会に十分生かしていただきたいと思えます。

全体が厳しい指摘や意見に終始する中、昨年のワークショップから参加された方から、これまで地域の方々の努力やアイデアの提示、真剣な議論の中から「素晴らしい基本設計」が完成したことを評価すべきだとの意見があり、救われる思いがしました。いずれにしても豊中市内初の、地元も関わった最新で最良コンセプトの建替えが実現します。



# いろいろブログ



## なに考えとるん？

12月定例会の文教常任委員会に請願が付託されました。「豊中の子どもの保育・教育を守る会」という某政党系団体が提出した請願書で、15項目が文教常任委員会に付託されました。請願項目には待機児童の解消など賛成できる内容も一部にはありますが、大部分は予算の制約がなければ可能なものや到底賛成出来ないものがほとんどです。

民主主義は多くの人の理解や賛同者があってこそその制度で請願も同じです。

請願は上記のような理由で一人の委員以外はすべての委員が反対で否決。これまでこの党には理解を示してきた唯一人の委員からも、あきれた様子で否定される始末。本当に通そうと思えば優先順位をつけ、全体の理解を得られるよう精査するのがふつうの話です。

政治は妥協の産物でもあり、成果に結びつけてこそ意味があります。市民が耳触りのいい言葉だけで支援すると考えるのは大きな間違いだし、こんな指摘をあえてしなければならぬパフォーマンス政治？から決別し、市民福祉を確実に前進させる政治手法に変わってほしいものです。

ついでながら本会議でのいわゆる「従軍慰安婦問題」についての市の見解を問うた質問にも疑問符が付く。この問題は吉田清治と朝日新聞の捏造と喧伝により日本という国が奴隷狩りをしたと国際的に貶められている問題で、河野談話を巧妙に引用するやり方もいただけない。

第三者委員会からも手厳しく批判された朝日新聞と同様、全体像と詳細を正確に捉えた発言こそが大切で、朝日と同じ自虐史観からは何も生まれぬし残念でない。職業的詐欺師といわれた吉田清治はどこの政党の人なのか……

## 箕面市による北急延伸説明会

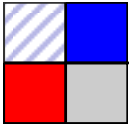
北急延伸計画の詳細が箕面市から豊中市民に説明されました。この延伸計画は現在終点である千里中央駅から北へ2.5km延伸し、箕面船場駅、新箕面駅を建設しようとするものです。箕面市民の長年の希望であり、現在の箕面市長が熱心に取り組んでいる事業でもあります。

この計画、現在の算定では建設費600億円、車両費50億円の総事業費650億円となっています。このうち国が285億円、大阪府100億円、鉄道事業者(北大阪急行)80億円、箕面市が185億円の負担となっています。国や大阪府はこれ以上負担しないため、事業費が膨れ上がったり、計画利用者数4.2万人の推計が未達となった場合のリスクは箕面市と事業者が負うことになっています。

今回の箕面市の説明については当初、千里中央駅に隣接する一部自治会にのみ説明することになっていました。私は議会を代表する副議長として、また、豊中市の都市経営に関わる重要案件である事から、千里中央の事業者と新千里東西南北、各町の地域自治協議会と連合自治会に対して説明責任を果たすよう箕面市に申し入れるべきだと主張し実現しました。当日の説明会には千里コラボ(豊中市の施設)最大の会議場が超満員(参加約200名)となり、関心の高さとともに申し入れが正しかったことを実感しました。

全体説明の後、質疑応答で何人かの方が質問しましたが、将来の赤字を値上げという形で豊中市民が負担することになるのではないかといった当然の心配から、換気塔は箕面市までもって行けといった質問までいろいろ。この計画は箕面市だけでなく千里中央を含む北大阪全体の利益と発展のために知恵を出し成功させることが大切です。





# 地域の努力で着々と「まちづくり」

## 照明のLED化で安心社会を

今や当たり前となった照明のLED化ですが、電力使用量や維持管理費の大幅縮減、CO2削減などその有効性を確信。10年前から拡大普及に取り組み、豊中市内の照明方式を変えてきました。

今回、北丘小学校やPTAの要請を受けて新千里北町の一部道路と歩道の照明をLED化することになりました。年明け後に工事着手する地域は、新千里2号線(千里中央～北丘小学校手前)の330m、新千里北町歩9号線(北丘小学校北側外周歩道)の330m、ひじり幼稚園東の府営住宅内道路(私道)の250mについては増設することになりました。

他の地域についてもスピードアップをはかり、女性や子どもが安心して歩けるよう取り組みを進めます。



## 地域が主役の「まちづくり」

新千里北町にある「檜の木公園」は、地区公園でありながらトイレ設備がありません。多くの利用者に不便をかける状況のため、以前から設置を働きかけてきました。このたび新千里北町にできた「地域自治組織」からも要望書が出され実現が早まることになりました。同時に公園整備や遊具の更新も追加され工事も既に始まっています。

こうした工事は、地元との調整不足から出来上がってからの不備がよくあります。「地域自治」を積極的に推奨する私は、市と地域に対し事前の打ち合わせや管理についての話し合いを要請。その結果、細部の変更や歩行者導線の再整備についても手直が実現。地域の「まちづくり」に地元が積極関与することで無駄の排除と質の高さ、地域力の向上も図れます。今後、他の校区への「地域自治組織」の拡大・発展が待たれます。

## ・・言いたい放題・・

この国はバブルの崩壊後、失われた20年が言われ、政治の混乱と経済の低迷で国民は自信を喪失、国際的地盤沈下が甚だしい。

明治維新や戦後の復興期と並ぶ大事な過渡期にありながら、毎年のように総理大臣が変わる体たらくでは仕方あるまい。

第47回衆議院議員総選挙の結果は、自民党が291議席を獲得し完勝した。連立を組む公明党の35議席を加えると2/3以上の議席を獲得。法律の再議決も可能となり、他の先進国にない数の上では安定した政権となった。 ↗

これまでの政権は順番はおろか名前すら出てこない「決められない政治」が長年続いた。好むと好まざるとに関わらず、国民が選択した今回の安倍政権、世界的にも珍しい強力政権には違いない。地方創生や経済問題、少子化対策や女性政策など強力政権ならではの実行力に期待したいが、この国の再生に残された時間には限りがあり、足の引っ張り合いだけはごめんだ。

それにしても今回の低投票率は何としたことか。棄権の多さは「民主主義」の根幹をも否定することになる。そうした中での救いは、豊中市内66投票所での投票率で1位が東丘、3位が西丘、6位が北丘と地元千里地区が上位を占めたことは誇りとしていたい。